

令和4年度 小規模多機能型居宅介護 「サービス評価」 総括表

令和 5年 2月 24日

くろさき小規模多機能ホーム

大上 美佐子

法人名	社会福祉法人 普代福祉会	代表者	大上 重信	法人・事業所の特徴	・普代村の黒崎地区に立地し、旧小学校の一部を改装して開所した小規模な施設です。地域の方々との距離は近く、訪問・面会・差し入れも多く利用者様との馴染みも出ています。 ・施設理念である「あなたの笑顔のお手伝い」をモットーに職員一丸となってお世話させていただいております。					
事業所名	くろさき小規模多機能ホーム	管理者	大上 美佐子							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	3 人	0 人	1 人	1 人	0 人	4 人	0 人	9 人
項目		前回の改善計画		前回の改善計画に対する取り組み・結果		意見		今回の改善計画		
A.	●事業所自己評価の確認	●利用者からの要望(本音)を普段の関りの中から聞き出す工夫・スキルを身に着ける。		●会話がしやすい雰囲気づくりを心掛け、普段の何気ない会話などで本人の気持ちを汲み取り、申し送りやノートで全職員と共有した。 ●毎月1回研修を開催することで、職員のスキルアップに繋がった。 ●認知症の方に関しては、家族との意見の相違がみられることもあるが、どうしても家族の意見が先行してしまうことが多い。		①自己評価で、出来ているものと出来ていないものがあるので、評価が難しかった。		①利用者の様子を簡単・容易に家族へ伝えられるようなシステムを考え(例えばラインで)施設での様子や相談事を迅速に対応・改善できるようにしたい。 (実際に、「宿泊」「通い」利用の方々の一部とは、ライン・ショートメールでやり取りをしてお互いに良い情報交換と迅速な対応が来ている、又送り時にその日の様子を職員が伝えている) 毎月、利用票と一緒に1カ月のケース記録を渡すことに関しても検討したい。		
B.	●事業所のしつらえ・環境	●利用者が和んで過ごせるように、季節に沿った内装を心掛け一緒に創作する。 ●転倒などのリスク回避のために動線などの確認・確保に努める。		●四季の移り変わりに合わせた、施設内のレイアウトを利用者と一緒に行いみんなが楽しみながら出来た。 ●施設自体が小さく動線が狭いので必要最小限の物しか置かないようにし、全員が気を付けて対応した。		①ホームの前に、花や扉には季節のしつらい等がしてあり明るく和やかな雰囲気です。		①レクの職員が計画し畑や庭の花など利用者と一緒に作り楽しんでいるので継続したい。また、フロアのレイアウトも年に1~2回ほど行き気分転換を行っている。(認知症の方々も迷うことなく順応している)		
C.	●事業所と地域のかかわり	●今後も、包括の事業には積極的に参加し地域・他者との関りを密にしていくよう努力する。 ●各種会議に参加させて頂けるよう各委員会に働きかけ、小規模多機能ホームのPRを行う。		●コロナ禍ということもあり、地域住民との関りはほとんどできなかったが黒崎地区で行っている「サロン」には数回参加し他者と関ることができた。 ●避難訓練時には、消防分署・地域の消防団員や運営推進委員の方々に協力をいただくことができた。 ●コロナ禍を考え、各種委員会の会議へ参加の意向を伝えることはしなかった。		①コロナ禍が過ぎたらと思っています。 ②コロナと共存した取り組みを模索する時期がくるのではないのでしょうか。		①コロナ禍で、あらゆる場所・人との交流が出来ない状況が続く見通しも立っていない事から、社会情勢や国の方針に従って行動したい。		

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
D.	<p>●地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p> <p>●広報誌(新聞)は、年2回の発行を継続しカラー印刷とする。</p> <p>●相談できる場所としては、口頭・各種委員会の会議への参加・広報誌(新聞)で周知する。</p>	<p>●広報誌(新聞)の発行は時期がランダムとなっているが2回の発行ができています。またカラー印刷と、A4サイズからA3サイズへ変えたので見やすいと好評。</p>	<p>①新聞は、カラーで字も大きいので読みやすいです。ホームでの生活が知れて良いと思います。</p> <p>②運営推進会議では、地域の方々の参画がされていると思います。</p>	<p>①新聞は、好評にてこのままの様式で継続したい。</p>
E.	<p>●運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>●福祉(介護)にか関する地域の困りごとをテーマに挙げていただき援助できるように進める。</p>	<p>●運営推進会議では、行事の報告と各委員との情報交換を行うが、なかなか「地域の困りごと」となると問題として挙がることがない。</p>	<p>①ホームにAEDが設置されている事を知らせていただいております何かあったときに安心できます。</p> <p>②自動販売機がホームにある事をお知らせいただいた。</p> <p>③もう少し、丁寧な説明を心掛けていただけるとありがたいです。</p>	<p>③運営推進会議に関しては、委員の皆様方から活発な意見を出して頂けるような内容にしたい。</p>
F.	<p>●事業所の防災・災害対策</p> <p>●地域と連携して、避難訓練や災害訓練が出来るよう地域の消防関係者と話し合いの場を設けて実施する。</p>	<p>●7月「避難訓練」と11月「災害訓練」にそれぞれ訓練を行った。避難訓練では、消防分署職員や黒崎地区の分団員・運営推進介護のメンバー・地域の方々参加協力を得ることができた。</p> <p>災害訓練では、通常使用している道路が寸断されたことを想定して、一の渡経由で通勤・利用者への支援がスムーズにできるよう道路の確認を行った。</p>	<p>①コロナ禍ということもあり、誰もが参加できる訳でもないと思っているが、次回は参加できるといいなと思っています。</p> <p>②普代分署・地域消防団等と連携して取り組んでいると思いますが、そのことが外部に伝わっていない事がもったいないと思います。</p>	<p>①今後も、コロナの終息を待ち、地域の方々に参加していただけるよう計画したい。</p>